

福岡県福祉サービス第三者評価の結果

【第三者評価機関】

名 称	特定非営利活動法人 医療福祉ネットワークせいわ		
所 在 地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号		
T E L	0952-41-6522	F A X	0952-41-6524
訪 問 調 査 日	平成27年1月22・23日	評 価 調 査 者 登 録 番 号	07-b00008 07-a00013

【福祉サービス事業者・施設基本情報】

法 人 名 称	しゃかいふくしほうじん りんのかい		
	社会福祉法人 凜の会		
法 人 の 代 表 者 名	りぢちよう えざき かつみ	設 立 年 月 日	昭和・平成
	理事長 江 峯 克 己		22年 2月 4日
施 設 名 称	しみずほいくえん	施 設 種 別	保 育 所
	清水保育園		
施 設 所 在 地	〒812-0043 福岡市博多区堅粕1丁目28番48号		
施 設 長 名	えんちよう えざき かつみ	開 設 年 月 日	昭和・平成
	園長 江 峯 克 己		22年 4月 1日
T E L	092-651-2165	F A X	092-292-5165
E メ ー ル ア ド レ ス	hoikuen@rin-shimizu.jp		
ホ ー ム ペ ー ジ ア ド レ ス	http://www.rin-shimizu.jp		
定 員	180名・世帯(現員195名・145世帯) ※該当を○で囲む		

【評価結果】

1 総 評

(1) 特に評価の高い点

I. 民営化後に人的環境・物的環境を整え、保育の質の向上に力を注がれています。

当保育園は、福岡市立保育所の民営化により、平成 22 年に新しい清水保育園として開園されました。施設の老朽化が懸念され、園舎の全面建替えを行って平成 26 年 3 月に完成した本園と共に、地域の小学校内に分園も設置されています。両園の内装は木の壁で暖かな雰囲気を出し、0・1 歳児の部屋の床暖房やトップライト付きのホール、環境に配慮しての太陽光発電、セキュリティーを強化した施設・設備など、子どもが安全で快適に過ごせる環境が整えられています。

開園当初より、「立腰教育」を基盤とした保育実践を進めてこられ、ゆるぎない方針の下で子どもに接するよう取り組まれています。人権を大切にすることも保育方針に掲げられ、子どもに「大好き」を日々伝えるよう努められています。保育に携わる保育士は、子どもにとって最大の環境と捉え、資質と専門性の向上に努めるなど、人的環境の整備にも力を入れています。毎日行われる朝会で、子どもたちの元気な挨拶や立腰教育に則った活動に触れ、職員一丸となって立腰教育に取り組まれていることがうかがえました。

保育の質の向上を目指して、園内における公開保育も行われています。クラスごとに日を変えて実施され、事前に立案された保育内容から興味のあるクラスを選んで見に行くことで、より理解が深まるよう工夫も凝らされています。お互いが見せる立場、見る立場で学びあい、保育の改善に繋げていく活動に力を注がれています。

II. 地域に根ざした活動や関係機関との連携が強化されています。

当保育園の前身である市立保育所は、地域の要望により設立された経緯があり、現在に至るまで地域と密着した関わりを持たれています。事業計画に地域活動事業が掲げられ、地域との連携や保護者支援に積極的に取り組まれていることがうかがえます。

七五三参りに地域の神社へ毎年行かれ、地域の人々の協力を得ながら参拝が行われています。延命地蔵尊祭りや山笠見学、豆まきにも出かけられ、勤労感謝訪問として近くのバス営業所などで働く人々と触れ合うなど、地域との交流を広められています。敬老会で子どもの作品をプレゼントしたり、中・高校生と一緒に遊んだり異世代交流や異年齢交流にも取り組まれ、子どもたちの貴重な体験に繋がられています。園の行事には、近隣の人たちを招待し、小学生の出番を必ず作るなど、工夫も凝らされています。未就園児対象の園庭開放や保護者支援としての育児講座も開催されています。

分園が小学校の校内にあり、側にある公民館も含めて連携しやすい環境が整っています。校庭で実施される校区の防災訓練への参加なども行われています。子ども育成ネットワークミーティングや教育対策部会、小・中学校サポーター会議など、様々な地域のネットワークに参加され、協働に努められています。

III. おいしい食事の提供と食育に取り組まれています。

園舎建替えにより厨房も新しくなり、調理食品の急速冷却機等も導入され、衛生的な環境が整えられています。産地や鮮度を考慮した食材や、天然だしで調理されたおいしい食事は、保護者からも好評であることが利用者アンケートからも読み取れます。行事食は彩りに配慮し、手作りの旗を立てるなどの工夫も凝らされ、誕生会のカレーは園の代表的な味となっています。食物アレルギーの子が同じものを一緒に食べられるようにも配慮されています。卒園児を招待するカレーパーティーでも、懐かしい味と喜ばれているとのこと。

栄養士は、食事をしている子どもたちの部屋に毎日行き、当日の野菜の切れ端を見せて食材や栄養の話をするなど、日々食育に取り組まれています。その活動は、子どもを通して保護者にも伝わり、家庭の食育に結びつく機会にもなっています。

(2) 改善を求められる点

I. 中・長期の収支計画の策定と、職員・保護者への周知を期待します。

平成 22 年の民営化から、新園舎の建築や分園事業、地域活動事業などを主な活動として中・長期計画を掲げ、分園の開設や園舎建替えなど目標を達成されています。しかし、収支計画の策定には至られておらず、各年度の計画には中・長期の事業計画のみが反映されている状況です。次の中・長期計画の評価・見直し、策定の際には、目標達成に向けた収支計画の策定を課題と認識されており、実現に向けて取り組まれることを期待します。

事業計画は、職員に配布されていますが周知が十分でなく、職員参画での策定や、進捗状況の報告など、更なる周知に向けた取り組みを期待します。保護者へは、事業計画を事務室前に掲示され、閲覧用も準備されていますが、認識されている保護者は少数に留まっている状況です。園だよりなどで、園舎建替えや分園事業、第三者評価受審についてなど一部は伝えられていますが、分かりやすい説明の機会を持たれることを期待します。

II. 一人ひとりの職員を育成するための研修計画の充実が求められます。

研修計画を策定され、一人ひとりの技術や技能を高めるよう園内研修・外部研修など資質向上を目的とした取組が見られます。研修受講後は報告書が作成され、職員会議や園内研修で発表の場も持たれています。しかし、一人ひとりの職員の育成に関する計画の策定に関しては、十分とは言えない状況がうかがえます。本人の経験や課題、知識・技術水準などを考慮し、個別の具体的な教育・研修計画を充実されることが求められます。

III. プライバシー保護に関する規程・マニュアルの整備を期待します。

子どもや保護者のプライバシー保護の姿勢は、子どもへの対応など保育場面での配慮に見られ、写真掲載についても仕組みが構築されていますが、十分とは言えない状況が見受けられます。保育実践でのプライバシー保護の視点を、標準的な実施方法などの文書に記載されるなど、今後の取り組みを期待します。

2 第三者評価の結果に対する事業者のコメント

公立保育所の民営化により、平成22年に開園し、自園の保育理念である「立腰教育」を基盤とし保育を展開して来ました。保護者の皆様や地域の方々、そして職員との一体感を日々感じる事が出来るようになったところでの第三者評価の受審でした。

今回の受審は、この5年の振り返りと現状の課題を認識する良い機会となりました。また一つ一つの確認作業を通して、職員のみとまりや個々の意識の変化(向上)にも繋がったのではないかと思います。

評価結果としては、現在のありのままの姿が出ていて、良い評価を頂いた項目は更に伸ばし、改善点と評価頂いた項目は解決できる方策を皆で考え、向上心を持って取り組みたいと思います。そして今後も子ども達に「大好き」を伝え、人権の視点を押さえた関わりをもって人柄の土台づくりに尽力したいと思います。

3 共通評価基準及び個別評価基準の評価項目による第三者評価結果（別添）

【保育所】 個別評価基準 評価項目（全77項目）

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

【I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。】			評価結果
1	I-1-(1)-①	理念が明文化されている。	①・b・c
2	I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	①・b・c
【I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。】			評価結果
3	I-1-(2)-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	①・b・c
4	I-1-(2)-②	理念や基本方針が保護者等に周知されている。	①・b・c

I-2 計画の策定

【I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。】			評価結果
5	I-2-(1)-①	中・長期計画が策定されている。	a・①・c
6	I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・①・c
【I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。】			評価結果
7	I-2-(2)-①	事業計画の策定が組織的に行われている。	a・①・c
8	I-2-(2)-②	事業計画が職員に周知されている。	a・①・c
9	I-2-(2)-③	事業計画が保護者等に周知されている。	a・①・c

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

【I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。】			評価結果
10	I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	①・b・c
11	I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・①・c
【I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。】			評価結果
12	I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	①・b・c
13	I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	①・b・c

Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

【Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。】			評価結果
14	Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	①・b・c
15	Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	①・b・c
16	Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	①・b・c

Ⅱ-2 人材の確保・養成

【Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。】			評価結果
17	Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	①・b・c
18	Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a・①・c
【Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。】			評価結果
19	Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	①・b・c
20	Ⅱ-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	①・b・c
【Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。】			評価結果
21	Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	①・b・c
22	Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され、計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a・①・c
23	Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a・①・c
【Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。】			評価結果
24	Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	①・b・c

Ⅱ-3 安全管理

【Ⅱ-3-(1) こどもの安全を確保するための取組が行われている。】			評価結果
25	Ⅱ-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における子どもの安全確保のための体制が整備されている。	①・b・c
26	Ⅱ-3-(1)-②	災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	①・b・c
27	Ⅱ-3-(1)-③	子どもの安全管理のためにリスクを把握し、対策を実行している。	①・b・c

Ⅱ-4 地域との交流と連携

【Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。】			評価結果
28	Ⅱ-4-(1)-①	子どもと地域とのかかわりを大切にしている。	①・b・c
29	Ⅱ-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	①・b・c
30	Ⅱ-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	①・b・c
【Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。】			評価結果
31	Ⅱ-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	①・b・c
32	Ⅱ-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	①・b・c
【Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。】			評価結果
33	Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	①・b・c
34	Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	①・b・c

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

【Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。】			評価結果
35	Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	①・b・c
36	Ⅲ-1-(1)-②	子ども・保護者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a・①・c
【Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。】			評価結果
37	Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	①・b・c
【Ⅲ-1-(3) 保護者が意見等を述べやすい体制が確保されている。】			評価結果
38	Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	①・b・c
39	Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	①・b・c
40	Ⅲ-1-(3)-③	保護者からの意見等に対して迅速に対応している。	①・b・c

Ⅲ-2 サービスの質の確保

【Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。】			評価結果
41	Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a・b・c
42	Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善計画を立て実施している。	a・b・c
【Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。】			評価結果
43	Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a・b・c
44	Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立されている。	a・b・c
【Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。】			評価結果
45	Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a・b・c
46	Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
47	Ⅲ-2-(3)-③	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a・b・c

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

【Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。】			評価結果
48	Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a・b・c
49	Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり保護者等に説明し同意を得ている。	a・b・c
【Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。】			評価結果
50	Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

【Ⅲ-4-(1) 子どもや保護者のアセスメントが行われている。】			評価結果
51	Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a・b・c
【Ⅲ-4-(2) 子どもに対する指導計画が策定されている。】			評価結果
52	Ⅲ-4-(2)-①	指導計画を適切に策定している。	a・b・c
53	Ⅲ-4-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c

A-1 保育所保育の基本

【A-1-(1) 養護と教育の一体的展開】			評価結果
54	A-1-(1)-①	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	①・b・c
55	A-1-(1)-②	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	①・b・c
56	A-1-(1)-③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	①・b・c
57	A-1-(1)-④	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	①・b・c
58	A-1-(1)-⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	①・b・c
【A-1-(2) 環境を通して行う保育】			評価結果
59	A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	①・b・c
60	A-1-(2)-②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	①・b・c
61	A-1-(2)-③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	①・b・c
62	A-1-(2)-④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	①・b・c
63	A-1-(2)-⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	①・b・c
【A-1-(3) 職員の資質向上】			評価結果
64	A-1-(3)-①	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	①・b・c

A-2 子どもの生活と発達

【A-2-(1) 生活と発達の連続性】			評価結果
65	A-2-(1)-①	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	①・b・c
66	A-2-(1)-②	障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	①・b・c
67	A-2-(1)-③	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	①・b・c
【A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場】			評価結果
68	A-2-(2)-①	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	①・b・c
69	A-2-(2)-②	食事を楽しむことができる工夫をしている。	①・b・c
70	A-2-(2)-③	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	①・b・c
71	A-2-(2)-④	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	①・b・c
【A-2-(3) 健康及び安全の実施体制】			評価結果
72	A-2-(3)-①	アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	①・b・c
73	A-2-(3)-②	調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	①・b・c

A-3 保護者に対する支援

【A-3-(1) 家庭との緊密な連携】			評価結果
74	A-3-(1)-①	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	①・b・c
75	A-3-(1)-②	家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	①・b・c
76	A-3-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	①・b・c
77	A-3-(1)-④	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	①・b・c